

# とんげねえ〜！！

残暑お見舞  
句申し上げます

## 【七夕飾り】を設置しました！！

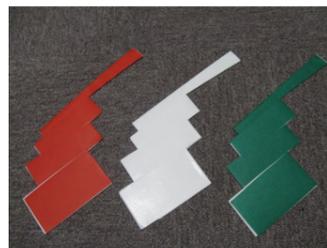
高千穂町国民健康保険病院では、7月4日から7月11日までの1週間の間、季節の行事に触れるという意味合いも込め、【七夕飾り】を正面ロビーに設置いたしました。今年度は、岩戸の方より天にも届きそうな立派な竹をご提供いただき、とても立派な七夕飾りとなりました。当院のスタッフで作成した色とりどりの七夕飾り、また、個性溢れる願い事が書かれた短冊で竹は装飾され、その立ち姿も凛々しく見えました。スタッフ間で見ていると、「宝くじがあたりますように」や「お金持ちになれるように」などの願い事が多かったように思います（笑）なかには、「お友達と仲直りできますように」といった可愛い願い事も見受けられ、和やかな気分も味わうことができました。皆様の願い事が天に届きますようにお祈り致しております！



↑設置した【七夕飾り】。本年度は患者様より寄贈頂きました、「夜神楽」で使用される「えり物」や「幣」も装飾させて頂きました。



寄贈された「えり物」



寄贈された「幣」

## 国見ヶ丘病院を招き「認知症」に関する勉強会を開催しました！

平成25年6月11日（火）に国見ヶ丘病院より3名の講師をお招きし、「認知症」に関する勉強会を開催いたしました。講師に、国見ヶ丘病院院長・植松昌俊先生、国見ヶ丘病院南1病棟師長・小笠直美先生、国見ヶ丘病院社会復帰課課長・甲斐邦宏先生をお招きし、ご講演頂きました。植松昌俊先生には、「認知症患者の対応について」という演題でご講演頂き、認知症の患者様への様々な場面での対応を学ばせて頂きました。小笠直美先生からは、「認知症看護の実践報告」という演題で、看護師の視点での対応方法等についてご講演頂きました。甲斐邦宏先生からは「西臼杵郡内における統合失調症と認知症の状況」という演題でご講演頂き、現在の西臼杵郡内の罹患率の推移や現状についてご講演頂きました。ありがとうございました。



左から、国見ヶ丘病院院長・植松昌俊先生、南1病棟師長・小笠直美先生、社会復帰課課長・甲斐邦宏先生。いずれも専門的視点からご講演頂きとても勉強になりました。



実際の臨床場面で使用する器具の使用方法をレクチャーして下さった植松先生。専門技術を目の当たりに歓声の連続でした。

とんげねえ〜！！

## 【終末期医療を考える会】No4 「リビングウィル(生前の意思表示)」について—part2—

今回から私たちの会で作った用紙の具体的説明を行いたいと思います。病気や外傷で治療方針を選択する必要に迫られた時に、自分で判断する能力があれば、その時に判断して意思表示すればよいので、このような事前指示書は不要です。しかし、急に意識や判断能力を失う状況にならないとは限りません。もし、本人の意思確認ができなくても、治る可能性のある病状であれば、病院は最善の治療をしますが、治る可能性がない場合に、どこまで延命治療をするのか、対応に苦慮することがあります。治る可能性がないのに、どこまでも延命治療を続けることは、本人や家族の苦しみを長引かせることになるのではないか、という考え方もあるからです。延命治療をどこまでするかは、患者様ご本人やご家族の人生観、死生観と関連が深く、病院としては、できるだけご本人やご家族に後悔が残らない、ある程度の充足感のある最期を迎えてほしいと願っています。また、がんの末期等の治らない病状になった時に、告知を受けたいか否か、の問題も病院としては事前を知っておきたいことです。そこで、【資料1】のような場合の意思表示をできるように作りしました。

なかなか簡単に決断できない問題だと思いますが、特に告知の問題は、がんになってからの判断では遅すぎます。「告知拒否」を表明されていない場合、近年は患者様本人の知る権利が優先されますので、病名や余命の告知を受ける羽目になってしまうからです。がんになる前に考えておいて、意思表示しておいていただきたいと思います。意思表示されていないと、「告知希望」と一般にはみなされますのでご注意ください。がんの治療は日々進歩し、以前に比べて治るようになってきておりますが、現代の医療ではまだ克服できていない病気です。どこまで積極的に克服を目指し、どこから積極的治療を控えるのか、主治医とよく相談しないと判断の難しい病気でもあります。1度の話し合いで治療方針が決まらず、何度も相談しないと難しいことはよくあります。その時、患者様ご自身の意思が尊重されて、よりよい結論になるためにも、患者様の意思表示は大切です。「その時になってみなければわからない」ことも多いのですが、前もって考えておいていただいた方が、考える時間がある分、少しでも納得いく結論になるのではないのでしょうか。次回は、認知症や高齢になって口から食べ物を食べられなくなった時について述べたいと思います。

### 【資料1】

1. がんの末期など、不治の病にかかり、余命が長くないとわかった場合の告知について
  - 1) 病名も余命も全て告知してほしい
  - 2) 病名のみ告知し、余命は告知しないでほしい
  - 3) 病名も余命も全て告知しないでほしい
2. がんの末期など、不治の病にかかり、余命が長くないとわかった場合の治療について
  - 1) 最後まで積極的な治療を受けて、病気と闘い、人工呼吸器を含めた延命治療も希望する
  - 2) 最後まで積極的な治療を受けて、病気と闘いたいが、人工呼吸などの延命治療は希望しない
  - 3) 積極的な治療より、苦痛を緩和する医療を望み、延命治療は望まない
  - 4) 家族の判断にまかせる
  - 5) その他



【設置場所①】  
正面玄関の掲示板



【設置場所②】  
3階・4階病棟エレベーター前

## 【平成25年度新規採用職員紹介】



【医師】

尾崎 宣之（外科）

当院では、内視鏡的逆行性胆膵管造影検査も再開しました。腹腔鏡の最新機器も導入し小さな創で様々な手術も行え早期の退院も可能となっています。詳細は外科外来までご相談を。



【医師】

工藤 文明（内科）

地域医療のプロフェッショナルを目指して気合いを入れて頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



【看護師】

佐藤 妃美（第一病棟）

患者様の立場になり、一生懸命頑張りたいと思います。病棟でも気軽に声をかけてください。よろしくお願いいたします。



【看護師】

城田 裕子（第二病棟）

4月から勤務しております城田と申します。常に笑顔忘れず、患者様から信頼される看護師を目指して頑張ります。



【臨床工学技士】

平 麿久（透析室）

九州保健福祉大学を卒業し、4月から透析室で勤務しています。延岡市出身です。最近は1人暮らしにも慣れてきて新しい趣味を探しています。よろしくお願いいたします。



## 【平成25年6月1日付新規採用職員紹介】

高千穂町国民健康保険病院では、平成25年6月1日付で2名の理学療法士を新規採用いたしました。この度の採用で当院の理学療法士は5人体制となり、今までよりも更にパワーアップした体制でリハビリ患者様の機能向上のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。平成26年度採用予定の作業療法士の募集も実施しました。今後も更なる飛躍を目指し頑張っております。よろしくお願いいたします。



【理学療法士】

後藤 裕樹（リハビリ室）

理学療法士として患者様や病院に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



【理学療法士】

甲斐 貴裕（リハビリ室）

約10年ぶりに高千穂に帰ってきました。日々、高千穂の人達の温かさを感じています。笑顔でよりよいリハビリを提供します。

どんげねえ〜！！

## 【平成25年度外来診察表】

【受付時間】  
7:30~11:30（月~金）  
15:20~16:30（月~金、小児科のみ） 平成25年8月1日

診療科		月	火	水	木	金
内科	1診	工藤(文)	工藤(文)	工藤(文)	工藤(文)	工藤(文)
	2診	工藤(静)	工藤(静)	工藤(静)	工藤(静)	工藤(静)
	3診	押方	押方	押方	押方	押方
	新患	-	-	-	箕田	-
外科		箕田	秋月	箕田	尾崎	秋月
整形外科		塩月	塩月	塩月	塩月	塩月
		福島	福島	福島	福島	福島
眼科		-	-	(後藤)	-	(熊大眼科)
小児科		興梠	興梠	興梠	興梠	興梠
泌尿器科		(村上)	-	(矢津田)	-	-
循環器科		-	(小川)	-	-	(鈴鹿)
耳鼻咽喉科		-	(伊勢)	-	-	-
皮膚科		(神人)	-	(境)	-	(熊大皮膚科)

※眼科は毎週水曜日と金曜日だけの診療になります。  
※第3金曜日の小児科の診療は熊大医師による診療となります。

( ) は非常勤医師

## 【給食室便り】気を付けましょう！「食中毒」

食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食べ物に付着し体内に進入することによって発生します。食中毒予防の3原則として、①「つけない」②「ふやさない」③「やっつける」、ということが挙げられます。①の「つけない」とは、まさに「手洗い」のことです。手には様々な雑菌が付着しています。食中毒の原因菌が食べ物に付かないよう、手洗いは欠かさず行いましょう。②の「ふやさない」は、「保存方法」のことです。10℃以下では増殖がゆっくりとなり、-15℃以下では増殖は停止します。菌を増やさない為にも低温で保存しましょう。ただ、冷蔵庫を過信せず、早めに食べるのが重要です。③の「やっつける」は、「熱殺菌」のことです。ほとんどのウイルスや細菌は、過熱によって死滅します。肉・魚はもちろん、野菜も過熱して食べれば安心です。ふきんやまな板、包丁などの調理器具も洗剤でよく洗い、熱湯をかけて殺菌しましょう。



【原則①】「つけない」  
手洗いの徹底！

【原則②】「ふやさない」  
保存方法を考える！  
早めに食す！



【原則③】「やっつける」  
過熱による殺菌を！  
調理器具も清潔に！

残暑お見舞い申し上げます

高千穂町国民健康保険病院

〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井435-1  
TEL:0982-73-1700(代表) FAX:0982-73-1710